

事務事業 No./名称	<input type="checkbox"/> サービス部門 <input checked="" type="checkbox"/> 支援部門 教育-30 教育課題対応事業(中学校)									
主管課	教育指導課	関連課								
分野名	学校教育									
目標 (目標値)	教員の指導力を向上させるための研究・研修の充実を図ります									
人口等のデータ	データ区分	25年度	24年度	23年度	備考					
	人口	177,895人	177,224人	177,204人	・各年4月1日 (住民基本台帳)					
	世帯数	80,295世帯	79,669世帯	79,217世帯						
	事業の対象者数	11467人	11391人	11301人						
事業費(千円)	346	378	347							
運営資源状況	(国・県)									
	(負担金等)									
	(一般財源)	346	378	347						
	人員配置数	0.2人	0.2人	0.4人						
	人件費(千円)	1,584	1,638	3,675						
	協働のパートナー									
	事務事業 運営経費	総事業費(千円)	1,930	2,016	4,022					
	市民1人当りの経費(円)	11	11	23						
	対象者1人当りの経費(円)	168	177	356						
ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名⇒	鎌倉市	逗子市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市				
	公立中学校数	9校	3校	19校	13校	15校				
	公立生徒数	3,296	1,252	10,364	6,072	6,678				
	公立学級数	109	42	311	182	223				
指標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)			
教育課題指定研究実施校数	◎	目標値	3校	3校	3校	3校	3校			
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	3校	3校	3校	3校				

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面)

(千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止			
研究・研修事業	346	中学校研究・研修事業	306	今後の方向性	B	理由・手法	事業の円滑な運営のために、予算の確保に努める。
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	指導方法の工夫・改善により学習意欲の向上を図る授業や、思考力・判断力・表現力の育成を図る授業の研究を進める。研究・研修の推進・充実を図るなかで、教職員が自己研鑽に努め、授業力の向上を図る必要がある。												
課題解決のための取組	各学校で、研究授業と研究協議の回数を増やし、指導力向上を図る。また、研究授業や校内研修会へも指導主事が積極的に出席し、アドバイスをを行った。							取組の結果	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 未解決				
未解決の課題	各学校で、学習意欲の向上を図る取組や、思考力・判断力・表現力の育成を図る取組を通じて授業力は向上しているが、児童の学習状況の把握、分析を通して学力定着を図る必要がある。												
中事業の評価	適切=○要改善=△(2面「評価の視点」を参照)				➡	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組・H26予算への反映)	今後も、各学校での研究授業と研究協議の回数を増やし、指導力向上を図る。また、研究授業や校内研修会へも指導主事が積極的に出席し、アドバイスをを行う。今後も研究・研修のための予算の確保に努める。							➡	B	※□事業完了			

評価者名

教育指導課長

川合 良宏

(2面) 小事業・個別事業の評価

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

(単位:千円)

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
研究・研修事業	教員の指導力を向上させるための研修・研究の充実を図る。				○	○	△	○	
	主な個別事業	タイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
		1240	研究・研修講師謝礼	130	130	①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
		1240	研究・研修消耗品費	120	118	○	○	△	○
		1240	印刷製本費	100	98	○	○	△	○
※□	事業完了								
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主な個別事業	タイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□	事業完了								
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主な個別事業	タイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□	事業完了								
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主な個別事業	タイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□	事業完了								
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主な個別事業	タイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□	事業完了								